

会社名	太平洋プレコン工業株式会社
役職	常務取締役 執行役員
氏名	岩本力 様

まず、太平洋プレコン工業様のお仕事の内容と PR ポイントを教えてください。

弊社は、1998 年の親会社太平洋セメント合併に伴い、旧アサノピーシー工業と旧吉野理化工業が合併して発足し、2006 年には旧アイエルビーと経営統合し、現在に至ります。

主な取扱い品目は、コンクリートブロックを中心とした擬石平板・インターロッキングブロック等の舗装材と、ダクトルや UPC(高強度コンクリート)製品など新素材を活かした景観製品などです。特に視覚障害者誘導用ブロックは歩道及び、駅ホームで広く採用されております。また、遮熱ILB、保水ブロックなど都市のヒートアイランド現象緩和に貢献できる環境製品もラインナップしており、さらにワイン空瓶等をカレットとして再利用したワインブロック等も商品化するなど再生資源のリサイクルも積極的に推進し、地球環境保護の面でも社会貢献をめざしております。

近年は、重荷重交通ブロック舗装に取り組んでおり、たわみ性舗装であるインターロッキングブロックの利点を再度見直し、港湾ヤードでトランスファークレーン及び、大型トレーラーの作業エリアで実績を伸ばしております。今後も維持メン



テに苦勞している物流倉庫・荷役作業舗装で、LCC を提案し、より長期的にコスト削減・安全・安心な舗装の提案に向けて取り組んでおります。

街路とお取引が始まったきっかけは何でしょうか。

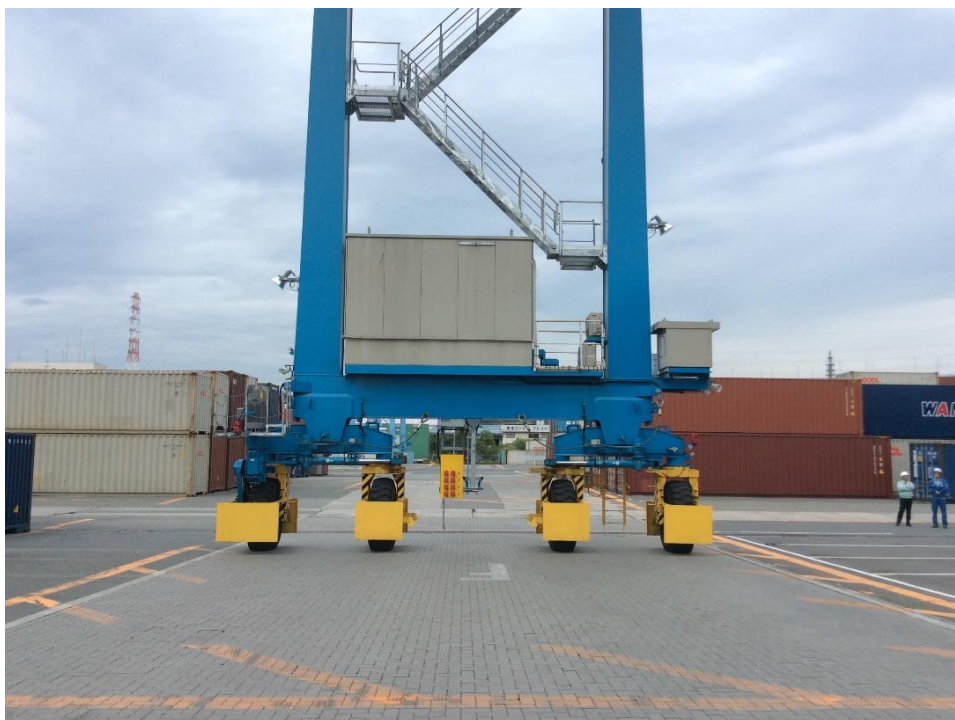
唐澤専務とは 30 年以上長きにわたり、各ブロック舗装の会でブロック舗装の拡販及び、技術の確立に取り組んできました仲間であり、株式会社街路様とお取引させて頂いています。

街路とお取引を始めて御社にとって良かった点や今後街路に求めていることを教えてください。

株式会社街路様のネットワーク及び、豊富な技術知識を武器に、舗装ブロックの拡販に尽力願ひ、良いお取引をさせて頂きたいと考えております。

また、太平洋プレコン工業株式会社としましても推薦に恥じないような製品をご提供させて頂き、

従来製品に対しての助言及び、新しい舗装ブロックの開発のヒントを頂きながら、業界の活性化に貢献できる事を希望します。



神戸港コンテナターミナルのインターロッキングブロック舗装(その1)



神戸港コンテナターミナルのインターロッキングブロック舗装(その2)